

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(プランクトン) KD-30-52号

平成30年12月30日発行

プランクトン調査を12月30日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・麻痺性貝毒原因プランクトンの発生はわずかでした。

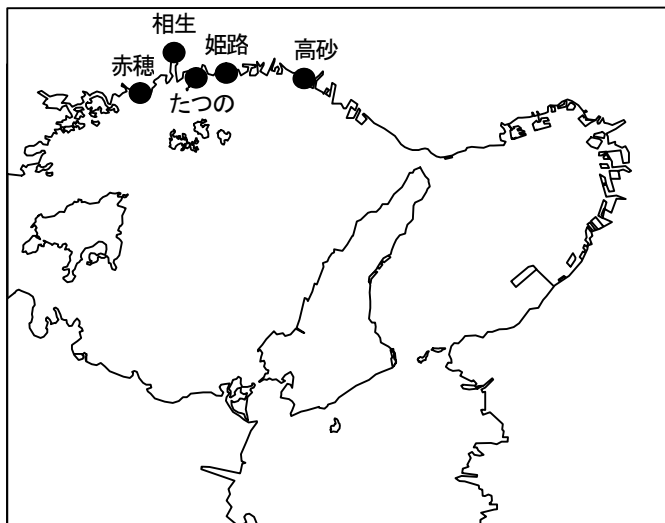
【検査結果】



年月日(採水・採取)		H30.12.30						
地点(St.)		高砂	姫路	たつの		相生	赤穂	
				①	②		①	②
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム <i>Alexandrium</i> spp. (個数/mL)	0.36	0	0	0	0.1	0.02	0.02
下痢性貝毒原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/mL)	0	0	0	0	0	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/mL)	0	0	0.04	0	0	0	0.02

※*Alexandrium* spp.は、*Alexandrium tamarense*と*Alexandrium catenella*を含む複数種の合計値

※たつのと赤穂は、複数地点の海水の調査結果をそれぞれ①～②として示した。



＜規制の基準＞

可食部の毒量が

麻痺性貝毒: 4マウスユニット/g

下痢性貝毒: 0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

＜注意が必要なプランクトン密度＞

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ

Alexandrium tamarense 5 個数/mL 以上、

アレキサンドリウム カテネラ

Alexandrium catenella 50 個数/mL 以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ

Dinophysis fortii 50 個数/mL 以上

※密度の単位は 個数/mL 表記とします。

(海水 1 ミリリットルあたりのプランクトン個数)

【今後の情報予定】

- ・1月7日の週にマガキ(播磨灘)の調査を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 §

- ・貝毒による規制等に関すること: 兵庫県農政環境部農林水産局水産課資源増殖室 (担当: 漁場整備班)

Tel: 078-341-7711 (内 4163、4164)

- ・貝毒調査に関すること: 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当: 水産環境部 都倉・宮原)

Tel: 078-941-8602

Fax: 078-941-8604

Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>